

巴川水系流域治水プロジェクト案について (「巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画」の改定(案))

(第13回 巴川流域総合治水対策協議会)



「流域治水」の施策イメージ

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、**河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。**
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。



静岡県における流域治水の取組

流域治水の進め方

流域治水プロジェクト ※水系全体を対象

- 河川整備を緊急的に実施する
42水系を対象(国土強靱化の予算確保)
- 令和2年度:6水系(1級水系)
 - 令和3年度:36水系(2級水系)

巴川水系



重点
地区

水災害対策プラン ※浸水地区を対象

- 近年浸水被害が頻発する
14地区(10水系)を対象
＜1級水系(2)、2級水系(8)＞
- 令和2年度:8地区
 - 令和3年度:6地区

【対策の考え方】

- ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策
- ② 被害対象を減少させるための対策
- ③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策
⇒ 河川・流域・ソフト対策の組合せ
⇒ ハード・ソフト一体で多層的に推進

県内の河川に拡大
残り46水系(2級水系)
【流域治水プロジェクト】

令和2～3年度
令和4年度以降

計画名	対象	目標	期間
流域治水プロジェクト	水系(流域)	河川整備計画の目標 (国:戦後最大規模、県:1/5～1/10規模)	短期:5年、中期:10年 中長期:概ね20年
水災害対策プラン	浸水被害の発生 した地区	短期:近年発生した洪水 長期:河川整備基本方針(気候変動考慮)	短期:5年・10年 長期:将来(基本方針)

2

巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画

平成26年10月台風18号により、巴川流域で浸水家屋1,000棟を超える甚大な被害が発生。



台風18号と同規模の豪雨が発生した場合に少しでも浸水被害を軽減させるため、
「巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画」を平成27年7月に策定。

巴川流域における
浸水被害軽減に向けた行動計画
～平成26年台風18号による浸水被害を受けて～



平成27年7月
巴川流域総合治水対策協議会
(静岡市・静岡市)

3.2 浸水の要因

浸水要因としては、大きく4つ考えられます。

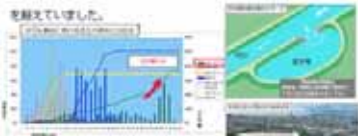
【浸水①】計画の規模を大きく上回る暴雨

流域平均の24時間最大雨量 30mm (注、集積透水量 1/100 規模以上であり、現在の計画規模である集積透水量 1/10 を大きく上回っています。

	1階型	3階型	24階型
現行の計画 (1/100)	66.7mm	135.0mm	271.2mm
平成26年台風18号 (9月1日)	90.7mm	146.0mm	362.8mm

【浸水②】治水ビークル時における洪水調整機能の限界

長く雨が降り続いた後、終りの日に降雨雨量 40～60mm の強い降雨が継続しました(偏り量・平均の降雨)。これにより、巴川の水位がビークルに達する前に、治水池が満水となってしまい、洪水調整機能の限界を超えていました。



【浸水③】治水池の構造

【浸水④】大雨時の治水池の状況

【浸水⑤】降雨が多い浸水地域

浸水被害が発生した場所の多くは、周辺に比べて標高の低い窪地であり、近風水が溜まりやすい地形特性です。



【浸水⑥】土砂の流出

降雨により山崩れから流出した土砂が水路を埋塞させ、ここから溢れた水が低平地へ流れ込んだことによって、浸水被害の被害が拡大したと考えられます。



【浸水⑦】台風18号における土砂堆積状況(清水地区)

巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画

計26項目の対策について、今後の取組とスケジュールを示した。

ハード対策

洪水処理対策

- 1 巴川本川の流下断面拡大の検討
- 2 既存遊水池の機能強化の検討
- 3 大谷川放水路の底張工
- 4 巴川本川の堤防の高さ確保
- 5 麻機遊水地第2-1工区の整備推進
- 6 既存遊水池の維持管理
- 7 治水施設の維持管理
- 8 市管理河川の改修事業の推進
- 9 下水道（雨水きよ）の整備

流出抑制対策

- 1 既定計画に基づく流域貯留浸透施設の整備
- 2 新たな流域貯留浸透施設の整備
- 3 道路への雨水浸透柵等の設置の検討

土砂流出対策

- 1 巴川本川及び支川の維持浚渫
- 2 小河川や排水路等の堆積土砂の排除
- 3 砂防事業の推進
- 4 森林整備による土砂流出防止機能の向上

ソフト対策

流出抑制対策

- 1 住宅への雨水浸透柵や雨水貯留タンクの設置の促進
- 2 開発業者等への流出抑制指導の継続
- 3 巴川流域機能保全活動に対する支援の継続
- 4 農地の多面的機能の発揮による遊水地域の保全

浸水被害軽減対策

- 1 行政機関における防災体制の強化
- 2 水防法に基づく巴川浸水想定区域図の見直し
- 3 洪水・内水ハザードマップの周知・啓発
- 4 自主防災組織への支援による共助の強化
- 5 自助による減災行動につながる情報提供のあり方の検討
- 6 コンパクトシティーの推進

4

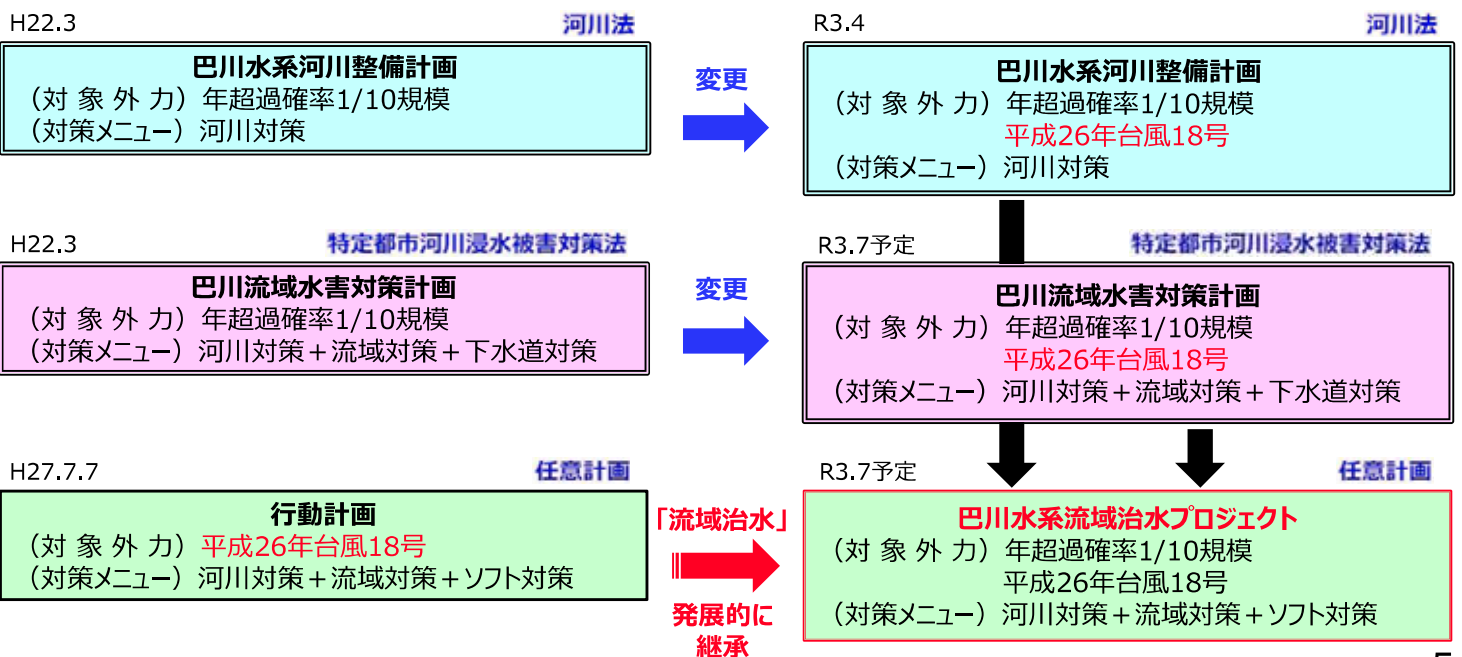
巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画

「行動計画」の短期対策（H27～R1）について（まとめ）

- 計画に位置付けた、計26項目の各対策は、順調に進捗していることを確認した。
- 「流域治水」の考え方を取り入れた取組は、既に実施済みである。

⇒ **引き続き、中期計画（R2～R10）に移行する。**

流域治水プロジェクト



5

令和2年度実施予定（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ハード対策＞ 洪水処理対策 -1 巴川本川の流下断面拡大、2 既存遊水地の機能強化

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）平成26年台風18号と同規模の豪雨に対して床上浸水解消を目指し、巴川本川の断面拡大や大内遊水地の機能強化等の対策効果を検証し、効果的な対策を検討

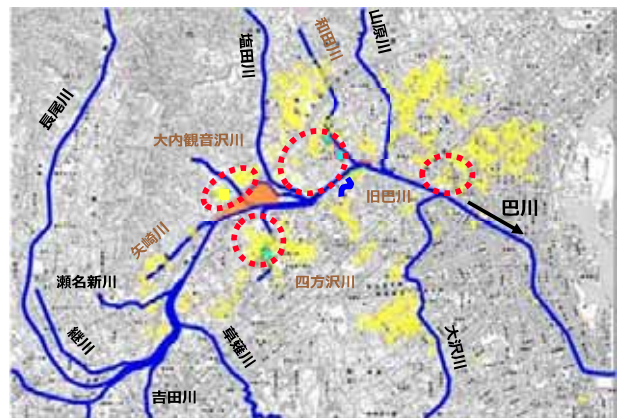
第12回協議会（H31.1.9）において、費用対効果や実現性の観点から巴川本川の断面拡大を優先的に進めることが決定

（実施状況）令和元年度まで 河川整備計画への位置付け、交付金事業化手続き等を実施

効果イメージ



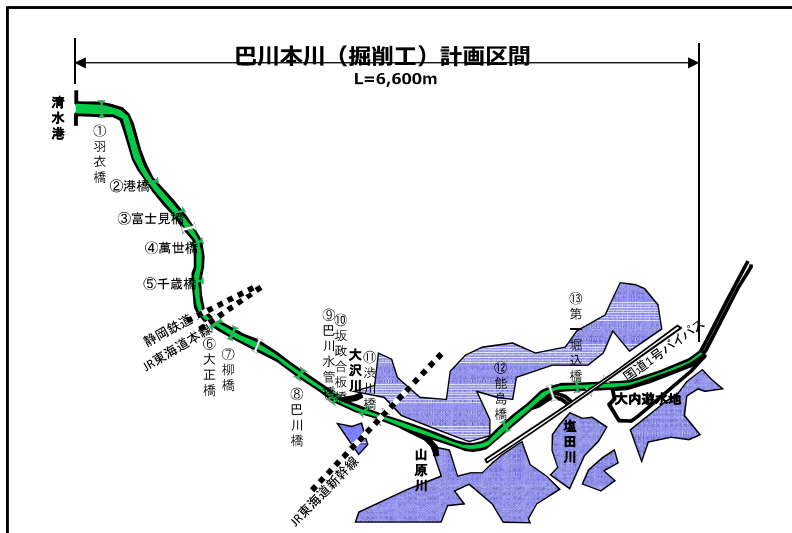
現状（台風18号型1/10降雨波形）



6.6k本川掘削実施後（台風18号型1/10降雨波形）

6

【中期対策（R2～R10）の実施予定】



羽衣橋から上流を望む



港橋の状況



【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期										中期					長期			
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降				
○	実施中	設計					実施設計													

【課題と対応】

- 掘削による橋梁架け替え・補強について、道路管理者との調整を行い、計画的な事業進捗を図る。
- 予算の確保（道路管理者の負担金含む）

7

令和2年度実施予定（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

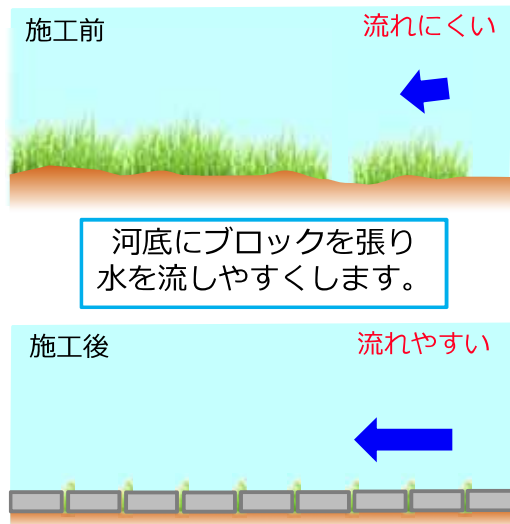
＜ハード対策＞ 洪水処理対策 -3 大谷川放水路の底張工

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）土砂堆積が著しい箇所の維持浚渫により、河道断面の確保を行う。

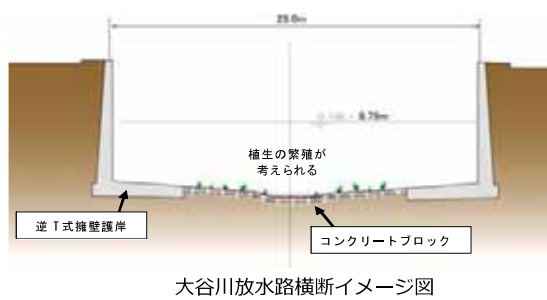
（実施状況）令和元年度まで 底張工 L=638m、A=9,624m²の整備完了

効果イメージ



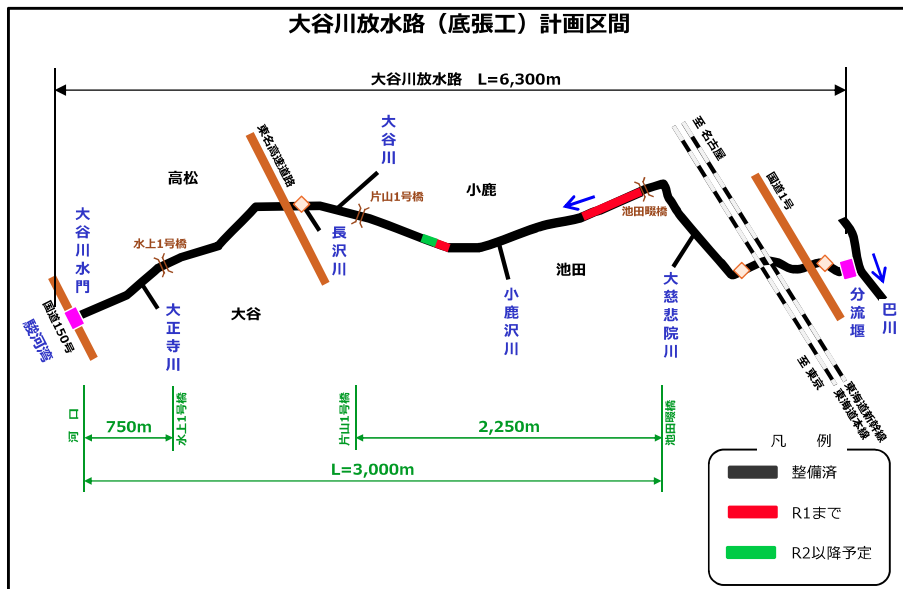
進捗状況（H27～R1）

河川名	整備状況
大谷川放水路	底張工 L=638m A=9,624m ²



コンクリートブロックによる護床工

【中期対策（R2～R10）の実施予定】



H27護床ブロック据付状況（中土呂橋上流）



H27護床ブロック据付状況（中土呂橋上流）



【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期											中期					長期	
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降			
◎	73%																		

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

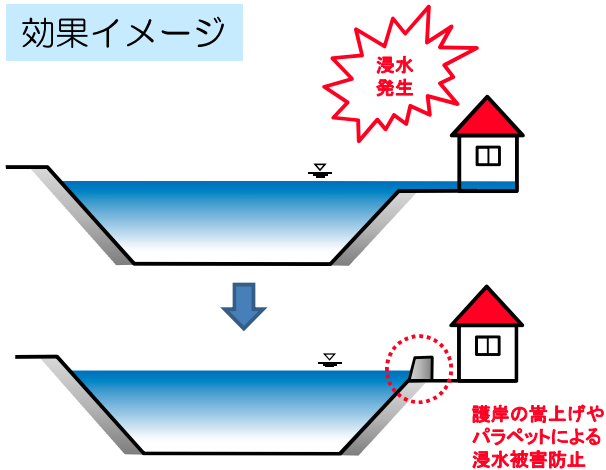
＜ハード対策＞ 洪水処理対策 -4 堤防の高さ確保

【短期対策（H27～R1）の成果】

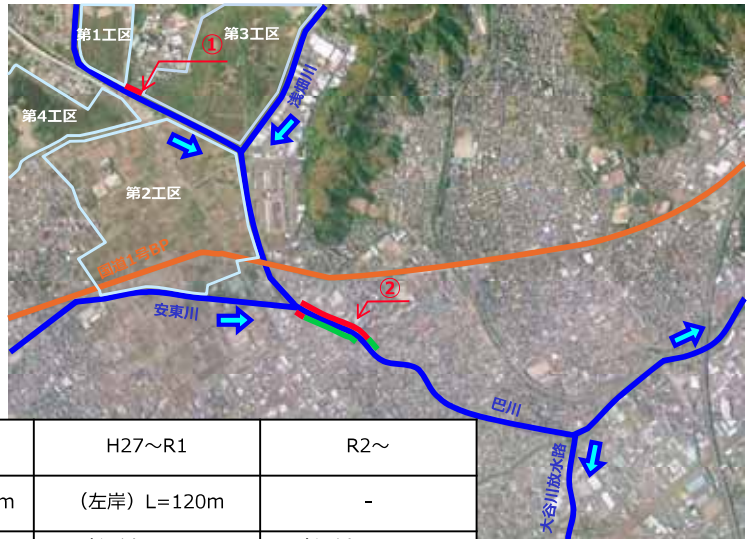
（対策目標）局所的に堤防高が低い区間の嵩上げを実施し、洪水時の弱点を解消する。

（実施状況）令和元年度まで 堤防嵩上げ L=682mの整備完了

効果イメージ



進捗状況（H27～R1）

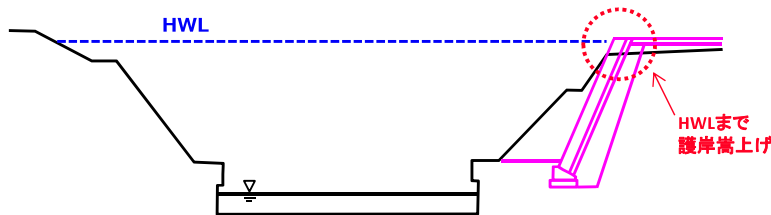


No	河川名	場所	全体計画	H27～R1	R2～
1	(二) 巴川	葵区漆山地先	(左岸) L=120m	(左岸) L=120m	-
2	(二) 巴川	葵区上土地先	(右岸) L=338m (左岸) L=559m	(右岸) L=46m (左岸) L=516m	(右岸) L=292m (左岸) L=43m

10

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

標準横断面図（上土）



(二) 巴川 静岡市葵区上土（完了箇所）



【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期										中期					長期
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降	
○	実施中	現場調査		工事													

進捗状況
 ○：計画より進んでいる
 ○：計画通り
 △：計画より遅れている

スケジュール
 ●：調整・内部検討
 ●：設計
 ●：工事・点検（不確定な工程は波線）

(二) 巴川 静岡市葵区漆山



【課題と対応】

人家連担箇所への迂回路や騒音・振動対策など、継続的に地元調整を図る。

11

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

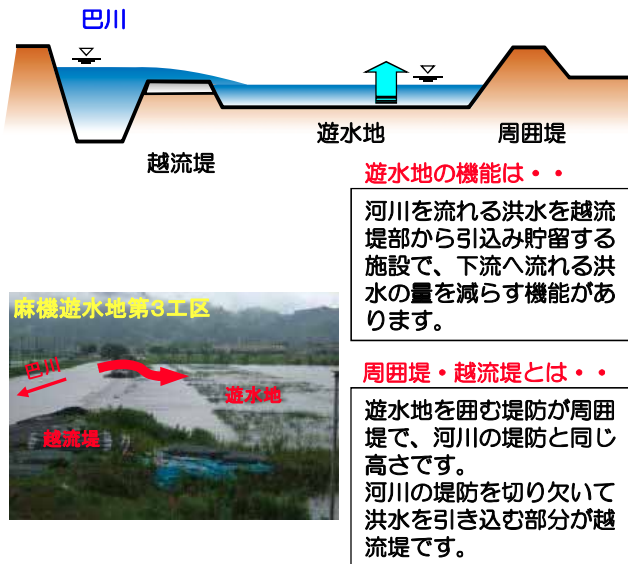
＜ハード対策＞ 洪水処理対策 -5 麻機遊水地第2-1工区の整備推進

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）巴川本川の水位を下げるため、麻機遊水地第2-1工区（4エリア）を早期完成を目指す。

（実施状況）令和元年度まで 用地買収99%完了 令和2年度の暫定供用に向けて3エリアの整備を推進

効果イメージ



進捗状況（H27～R1）

エリア名	整備状況
2-1工区	
① 加藤島エリア	用地買収：100%完了 工事：樋門工2基、掘削・築堤工1式
② 安東川エリア	用地買収：100%完了 工事：樋門工3基、掘削・築堤工1式
③ 立石エリア	用地買収：100%完了 工事：掘削・築堤工1式
④ 豊地エリア	用地買収：98.6%完了 工事：令和2年度から築堤工に一部着手

12

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

【麻機遊水地第2-1工区】

- 3エリア（加藤島、安東川、立石）
・・・R2年度暫定供用
- 4エリア（豊地含む）
・・・R7年度供用予定



【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期											中期					長期	
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降			
○	75% (用地取得率99.8%)	実施設計	用地取得	工事															

【課題と対応】

予算確保、付替え道路工の地盤改良 等



R2 立石エリア 流入樋門工

13

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

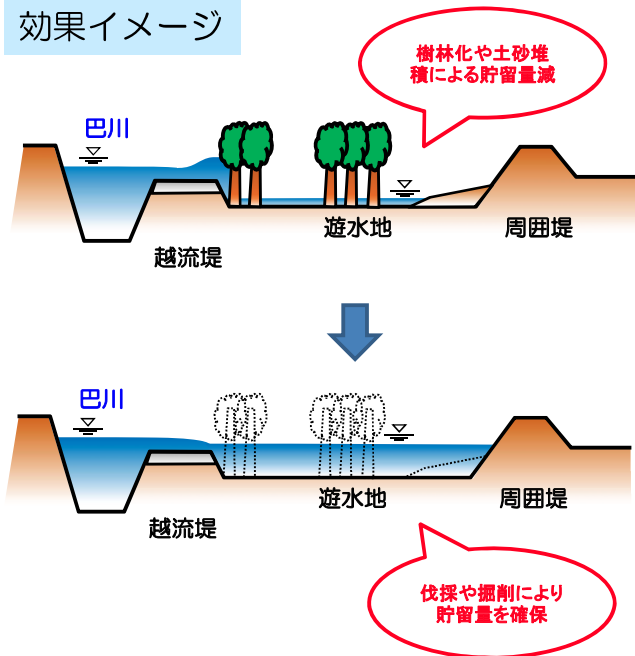
＜ハード対策＞ 洪水処理対策 -6 既設遊水地の維持管理

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）既設遊水地内の樹木の伐採・堆積土砂の掘削により貯水容量を確保する。

（実施状況）令和元年度まで 約1,900本の樹木伐採、約5,500m³の土砂撤去

効果イメージ



進捗状況（H27～R1）

工区名	整備状況
麻機遊水地 第1工区	伐木工 N=1,131本、掘削 V=5,000m ³
麻機遊水地 第3工区	伐木工 N=634本、掘削 V=490m ³
麻機遊水地 第4工区	伐木工 N=108本

【中期対策（R2～R10）の実施予定】



麻機遊水地4工区 伐木工 着手前（越流堤箇所）



麻機遊水地4工区 伐木工 完成（越流堤箇所）



【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期											中期				長期
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降	
○	実施中	検討・設計					工事										

進捗状況
 ◎：計画より進んでいる
 ○：計画通り
 △：計画より遅れている

スケジュール
 ● 調整・内部検討
 ○ 設計
 ■ 工事・点検（不確定な工程は波線）

【課題と対応】

- ・ 予算の確保
- ・ 治水面、環境面を考慮して伐採、掘削すべきエリアの優先度を整理し、遊水地の維持管理や利活用を行う保全活用推進協議会と調整を図りながら、継続的な維持管理を行う。

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ハード対策> - 7 治水施設の維持管理 洪水処理対策

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）既存治水施設（分流堰、逆流防止樋門）等の適正な維持管理を行う

（実施状況）令和元年度まで 定期点検や維持補修等を継続的に実施

効果イメージ

進捗状況（H27～R1）

<大谷川放水路 分流堰>



<七曲川逆流防止樋門>



箇所	実施状況
大谷川放水路分流堰	【毎年】 定期点検
七曲川逆流防止樋門	
巴川情報管理システム	【必要に応じて】 緊急整備、施設更新
水位計、カメラ等	

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

<巴川情報管理システム 点検>

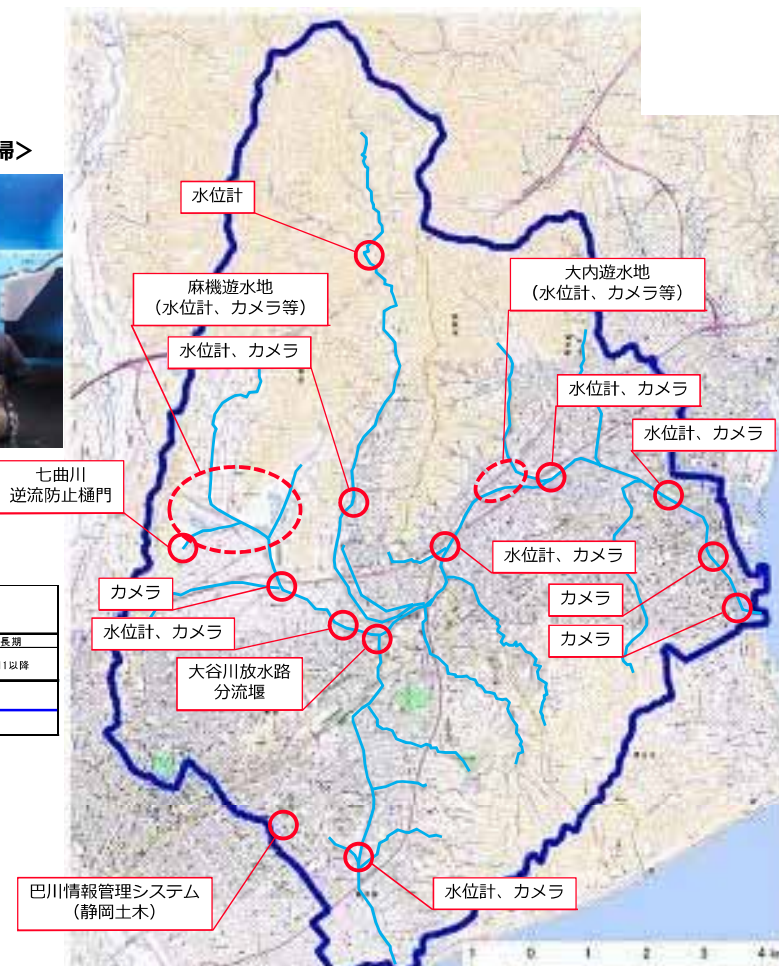


<七曲川逆流防止樋門 清掃>



【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期													中期					長期
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降				
○	実施中																			



【課題と対応】

- ・ 予算の確保
- ・ 出水時の漂流物への対応

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ハード対策＞ -8 市管理河川の改修事業の推進
洪水処理対策

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）巴川流域内の河川の改修を実施し、河川の流下能力の向上を図ります。

（実施状況）令和元年度までで、3河川の一部区間（計772m）の整備を実施。

効果イメージ

川を改修して、雨が降っても川の水があふれないようにします。

改修前

改修後

巴川水系谷津沢川（静岡市清水区平川地地内）

進捗状況（H27～R1）

年度	河川名	工事箇所	整備延長 (m)
H27	(普) 大内川	清水区大内	90.0
	(準) 谷津沢川	清水区平川地	32.0
小計			122.0
H28	(普) 大内川	清水区大内	170.0
	(準) 谷津沢川	清水区平川地	68.0
小計			238.0
H29	(普) 大内川	清水区大内	70.0
	(普) 和田川	清水区梅ヶ谷	60.0
	(準) 谷津沢川	清水区平川地	50.0
小計			180.0
H30	(普) 大内川	清水区大内	88.0
	(普) 和田川	清水区梅ヶ谷	42.0
	(準) 谷津沢川	清水区平川地	62.0
小計			192.0
R1	(普) 和田川	清水区梅ヶ谷	40.0
小計			40.0
計			772.0

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

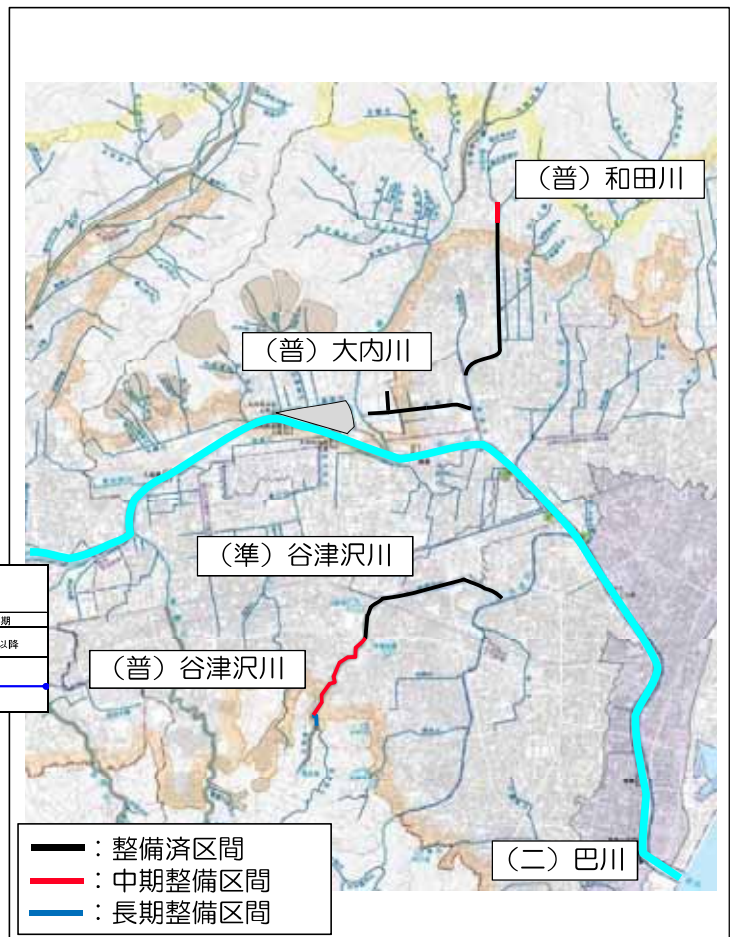
- 全体 2河川 計350m（～R5）
- R2 (普) 和田川 L=30.0m、(普) 谷津沢川 L=20.0m
小計 L=50.0m
- R3 (普) 和田川 L=30.0m、(普) 谷津沢川 L=70.0m
小計 L=100.0m
- R4 (普) 和田川 L=30.0m、(普) 谷津沢川 L=70.0m
小計 L=100.0m
- R5 (普) 和田川 L=40.0m、(普) 谷津沢川 L=60.0m
小計 L=100.0m
- R6以降 未定

【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	スケジュール														
		短期					中期					長期				
○		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降
○	実施中															

○ 計画より進んでいる
○ 計画通り
△ 計画より遅れている

スケジュール
● 調査・内部検討
● 設計
● 工事・点検(不確定な工程は波線)



【課題と対応】

河川沿いに住宅などが近接しており、狭隘部での施工になることが課題として挙げられますが、新技術・新工法による施工方法を検討することで対応していきます。

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ハード対策＞-9 下水道（雨水きよ）の整備

【短期対策（H27～R1）の成果】

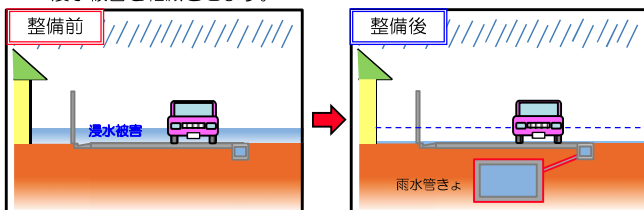
（対策目標）雨水幹線（雨水きよ）の設置とポンプ場の整備によって、下水道排水能力を上げます。

（実施状況）令和元年度までで、7排水区の工事実施、1排水区の整備完了。

効果イメージ

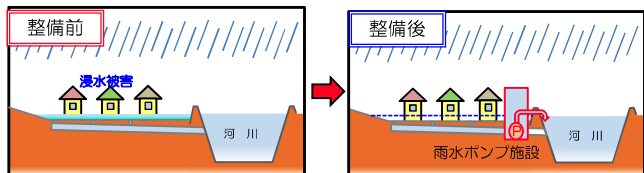
雨水管きよの整備

雨水管きよを新設又は改修することで、溜まった雨水を河川等に流し、浸水被害を軽減させます。



雨水ポンプ施設の整備

放流先河川などの影響により、低地に溜まった雨水をポンプにより強制的に排水することで、浸水被害を軽減させます。



進捗状況（H27～R1）

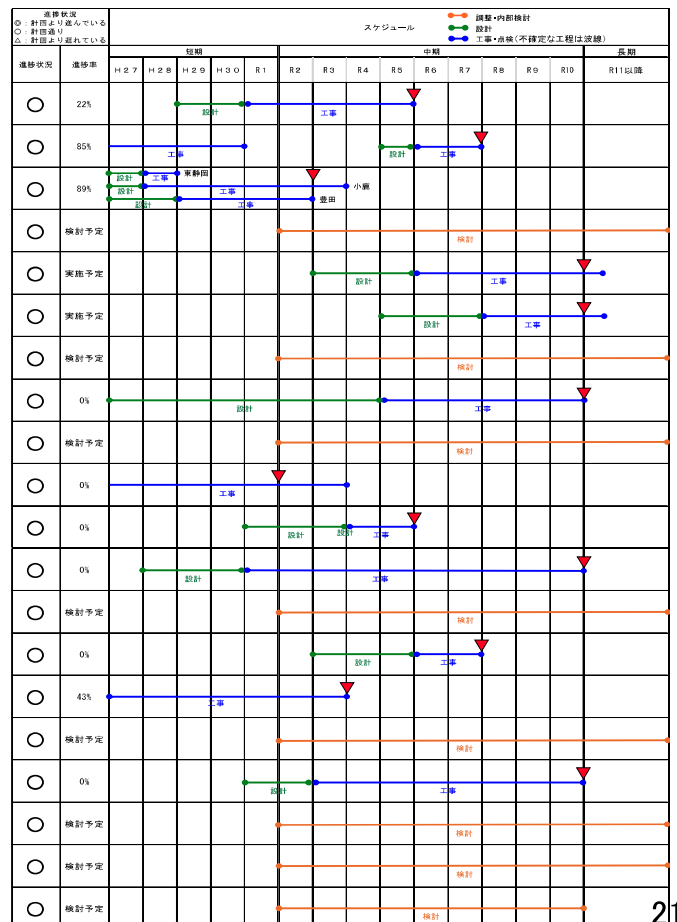
施策番号	排水区名	工事実施状況
9-1	城北排水区	雨水幹線の整備中 (R1～R5)
9-2	大岩排水区	雨水きよの整備中 (H20～H30、R6～R7)
9-3	沓谷排水区	雨水きよの整備完了 (H28～H30)
9-4	大谷川右岸排水区	雨水きよの整備中 (H28～R2)
9-11	山原川左岸排水区	雨水ポンプ場の整備中 (H25～R3)
9-13	巴川右岸第2排水区	雨水幹線、雨水ポンプ場の整備中 (R1～R10)
9-16	入江排水区	雨水幹線の整備中 (H27～R3)

20

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

施策番号	排水区名	工事実施予定
9-1	城北排水区	雨水幹線の整備完了 (R1～R5)
9-2	大岩排水区	雨水きよの整備完了 (H20～H30、R6～R7)
9-4	大谷川右岸排水区	雨水きよの整備完了 (H28～R2)
9-5	瀬名新川排水区	工事実施の検討
9-6	四方沢川排水区	工事実施の検討
9-7	巴川右岸第1排水区	雨水ポンプ場の整備 (R8～)
9-8	塩田川左岸第2排水区	工事実施の検討
9-9	巴川左岸第4排水区	雨水ポンプ場の整備完了 (R5～R10)
9-10	山原川右岸排水区	工事実施の検討
9-11	山原川左岸排水区	雨水ポンプ場の整備完了 (H25～R3)
9-12	巴川左岸第5排水区	雨水ポンプ場、雨水きよの整備完了 (R4～R5)
9-13	巴川右岸第2排水区	雨水ポンプ場、雨水幹線の整備完了 (R1～R10)
9-14	大沢川左岸第4排水区	工事実施の検討
9-15	江尻南部排水区	雨水きよの整備完了 (R6～R7)
9-16	入江排水区	雨水幹線の整備完了 (H27～R3)
9-17	大沢川左岸第3排水区	工事実施の検討
9-18	大沢排水区	雨水幹線の整備完了 (R3～R10)
9-19	大沢川左岸第2排水区	工事実施の検討
9-20	谷津沢川排水区	工事実施の検討
9-21	清水排水区	工事実施の検討

【事業スケジュール】



21

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

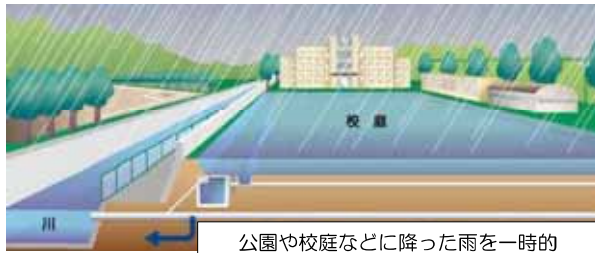
<ハード対策> -1・2 流域貯留浸透施設の整備 流出抑制対策

【短期対策（H27～R1）の成果】

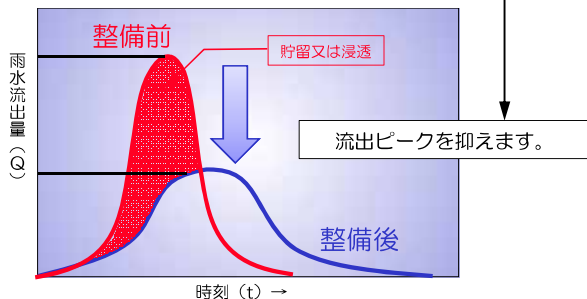
（対策目標）流域内に貯留浸透施設を整備し、河川への流出量を抑制します。

（実施状況）令和元年度までで、7,530m³の貯留浸透施設を整備を実施。

効果イメージ



公園や校庭などに降った雨を一時的に貯めて、ゆっくり川へ流すことで…

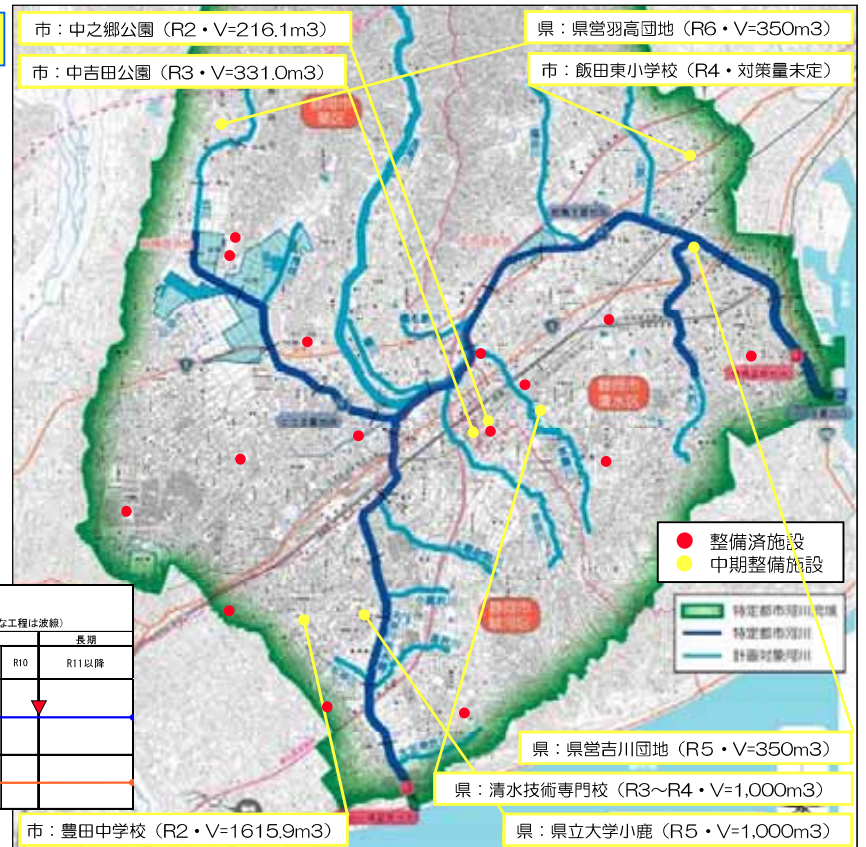
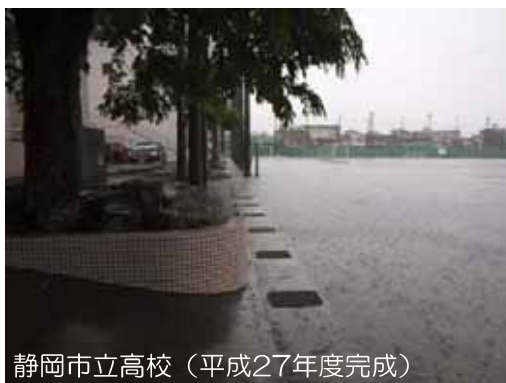


進捗状況（H27～R1）

施設名	機関	年度	貯留量 (m ³)	計画	備考
静岡市立高校	市	H27	3,036.0	○	
さつき公園	市	H28	79.2	○	
古庄中央公園	市	H27	80.4		
新草薙公園	市	H28	56.8		
登呂二丁目公園	市	H28	57.6		
下清水公園	市	H29	41.0		
大谷津公園	市	H29	36.5		
楠西田公園	市	R1	57.5		
吉川南公園	市	R1	37.0		
草薙総合運動場	県	H27～28	1,050.0	○	
静岡北特別支援学校	県	H27	465.0	○	
ふじのくに地球環境史ミュージアム	県	H28	237.0	○	
県営南沼上団地	県	H29	309.0	○	
県立こども病院	県	H29	1,121.0	○	
県立静岡高校	県	H29	866.0	○	
計			7,530.0		

※ 計画の○は、巴川流域水害対策計画に既定されていることを示しています。22

【中期対策（R2～R10）の実施予定】



【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	スケジュール														
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降
○	51%						設計・工事									
○	検討予定						設計									

○：計画より進んでいる
○：計画通り
△：計画より遅れている

● 調整・内部検討
● 設計
● 工事・点検(不確定な工程は波線)

【課題と対応】

①予算の制約、②規模が小さく交付金等の採択要件を満たさない、③借地であることにより整備が困難、④施設自体が売買等により消失、これらが課題として挙げられますが、新たな候補地の調査、整備手法の見直しを行うことで対応していきます。

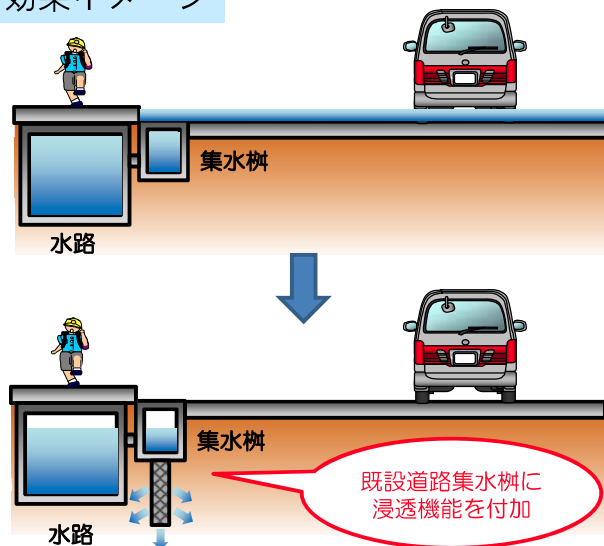
＜ハード対策＞ - 3 道路への雨水浸透柵等の設置
流出抑制対策

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）道路の集水柵を利用した雨水浸透施設を整備し、河川・下水道への流出量を抑制します。

（実施状況）令和元年度までで、清水区江尻町、銀座地区を整備対象地区として選定。既設道路集水柵の浸透化による、効率的、経済的な整備を計画し整備中。

効果イメージ



進捗状況（H27～R1）

- 基本設計
- 実施設計
- 施工…10箇所の既設道路集水柵を浸透化



浸透管設置後



施行中

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

引き続き、基本計画で設定した整備推進区域の中から、浸水対策の必要性が最も高いと考えられる清水区江尻町、銀座地区について、既存の道路雨水集水柵の浸透化工事を実施します。清水区江尻町、銀座地区の整備完了後の方針について検討します。

【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	スケジュール														
		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降
○ 計画より進んでいる																
○ 計画通り																
△ 計画より遅れている																
○ 実施中		設計														

【課題と対応】

雨水浸透施設の機能を十分に発揮させることを目的に、定期的な維持管理（点検・清掃）を実施するとともに、継続的な浸透試験を実施し、浸透機能の発現効果を確認する。



※平成27年度の基本設計において、地質等より浸透能力が期待され、流出抑制対策の必要性が高い地区を整備推進区域とした。

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

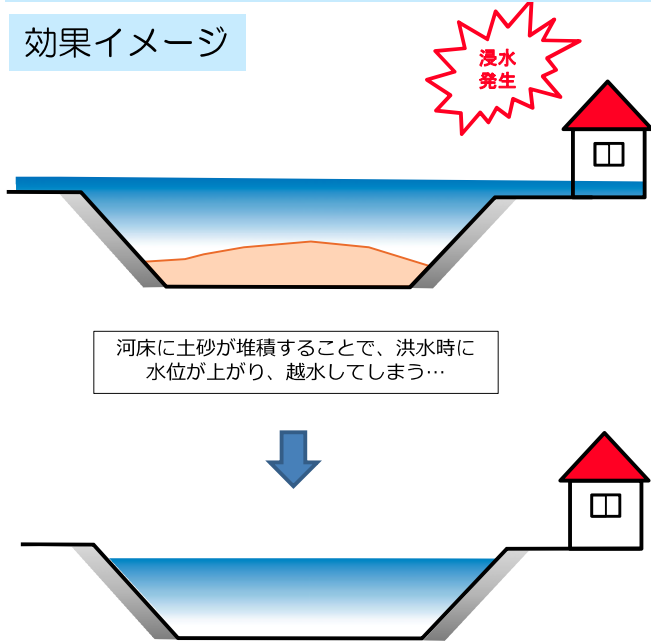
<ハード対策> - 1 巴川本川及び支川の維持浚渫 土砂流出対策

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）土砂堆積が著しい箇所の維持浚渫により河道断面を確保する。

（実施状況）令和元年度まで 10河川、約55,000m³の土砂撤去

効果イメージ



進捗状況（H27～R1）

全体 V=約54,800m³

箇所	実施期間	掘削量
巴川本川	H27～R1	35,900m ³
塩田川	H27～R1	7,900m ³
長尾川	H27～H30	4,840m ³
大谷川放水路	H29～R1	1,850m ³
山原川	H27～R1	1,820m ³
小鹿沢川	H27～R1	1,310m ³
大慈悲院川	H28	610m ³
吉田川	H27	280m ³
継川	H27～R1	170m ³
瀬名新川	H28	160m ³

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

R2：7河川 V=約16,400m³予定

R3以降：現地調査等により実施箇所を決定

<巴川（葵区北一丁目）>

<塩田川（上流部）>

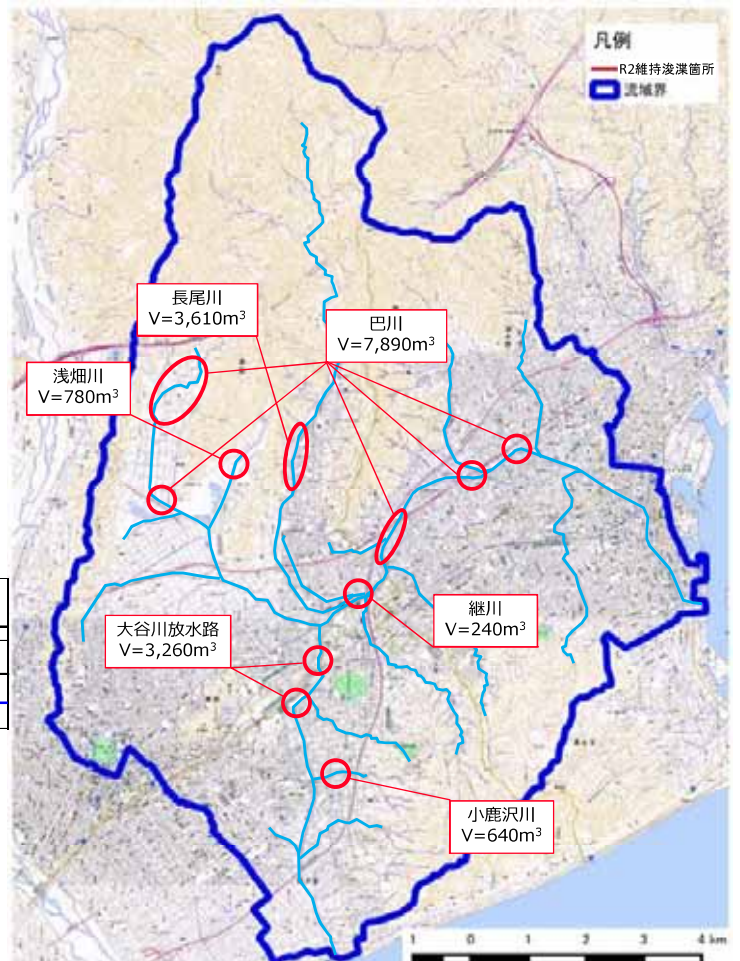


【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期										中期								長期
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降				
○	実施中																			

【課題と対応】

- ・ 予算の確保
- ・ 定期的な調査等により、適正な河川管理を行う。



令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ハード対策> -2 小川や排水路等の堆積土砂の排除 土砂流出対策

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）豪雨により堆積した土砂を排除し、適切な維持管理に努めています。

（実施状況）令和元年度までで、187件 計3,949m³の土砂を撤去。

効果イメージ



堆積した土砂を撤去

巴川流域内水路

進捗状況（H27～R1）

年度	件数	土量（m ³ ）
平成27年度	35	750
平成28年度	35	750
平成29年度	44	932
平成30年度	37	705
令和元年度	36	812
計	187	3,949

28

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

全体 V=7,200m³（800m³×9年）

年間平均 38件 800m³を実施する見込み

【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	スケジュール														
		短期					中期					長期				
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降
○	実施中						随時対応									

【課題と対応】

小規模な排水路での施工は、現場条件等の制約により効率が悪くコストが増加することが課題として挙げられますが、過年度の施工方法や時期を基に効率化し、コスト削減を図ることで対応していきます。

29

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ハード対策＞ 土砂流出対策 -3 砂防事業の推進

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）巴川流域内にある土石流危険渓流における砂防えん堤等の施設整備を行う。

（実施状況）令和元年度まで 山ノ神川など2基の砂防えん堤完成。

効果イメージ（砂防えん堤）



砂防えん堤の整備により、土石流発生時の被害軽減を図ります。（写真は他事例）

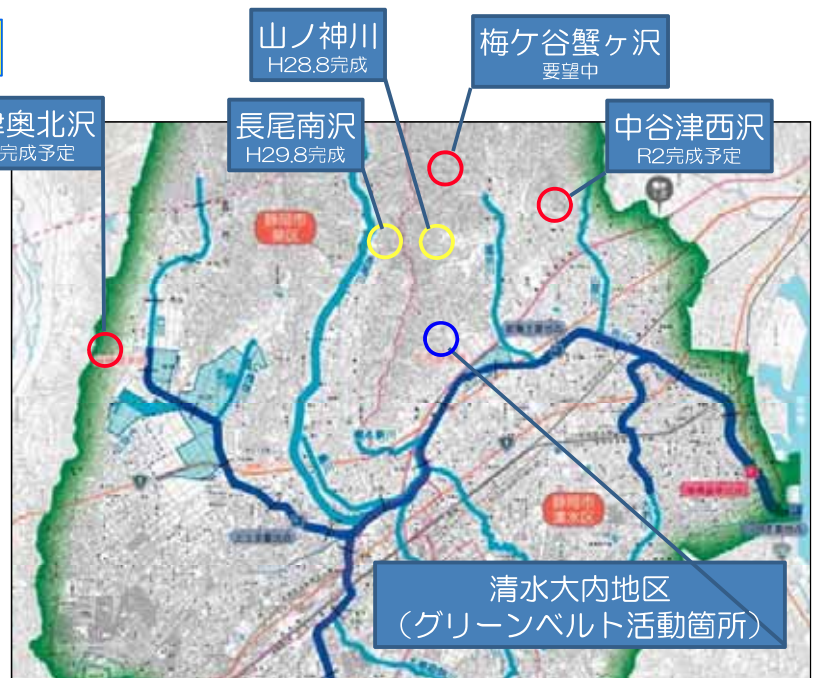
進捗状況（H27～R1）

渓流名	地区	実施状況
山ノ神川	清水区 柏尾	高さ7.0m, 幅42.5m 平成28年8月完成
長尾南沢	葵区 長尾	高さ10.5m, 幅76.0m 平成29年9月完成
中谷津西沢	清水区 蜂ヶ谷	工事施行中 高さ10.5m, 幅41.5m 令和2年度工事完成予定

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

- 砂防えん堤 3基
- グリーンベルトにおける協働継続

【グリーンベルト】
合同植樹祭の様子(H30.7.17)



【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	スケジュール														
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降
○	実施中	山ノ神川	長尾南沢	中谷津西沢						八津奥北沢					梅ヶ谷蟹ヶ沢	

【課題と対応】

巴川流域内の他渓流においても、土砂流出防止対策を進める。

【山ノ神川】



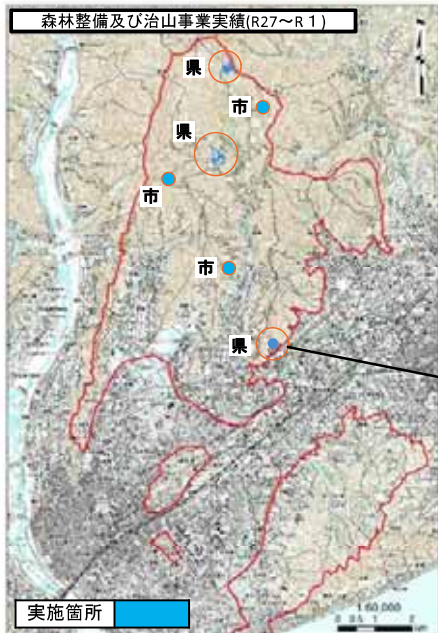
令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ハード対策＞ -4 森林整備による土砂流出防止機能の向上
土砂流出対策

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）土砂流出防止機能の向上が図られるよう森林の適正な整備を推進する。

（実施状況）森林整備や治山事業の実施



進捗状況（H27～R1）

区分	箇所	実施状況
森林整備	静岡市葵区北沼上ほか	H28～H29 間伐 15ha（県事業）
森林整備	静岡市葵区平山ほか	H27～H28 間伐 18ha（市事業）
治山事業	静岡市清水区鳥坂	H29 谷止工 V = 198m ² 平成30年1月完成（県事業）

＜谷止工（清水区鳥坂）＞



【中期対策（R2～R10）の実施予定】

森林の適正な整備を推進する。

実施イメージ



整備前



整備後

【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期					中期										長期	
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降		
○	継続				森林整備の実施													
		森林整備の実施																
					● 治山事業の実施													

【課題と対応】

- 今後も着実に森林整備を推進する必要がある。
- 森林経営計画に基づき、林業経営体の実施する間伐等を支援する。

＜土砂流出防止機能の向上＞



＜水源涵養機能の向上＞



令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ソフト対策＞ - 1 流出抑制対策 住宅への雨水浸透柵や雨水貯留タンクの設置の促進

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）住宅等に雨水貯留浸透施設を設置することで、雨天時に河川・下水道へ流れ込む量を少なくします。



（実施状況）各種イベント等での普及促進活動を通じ、雨水貯留浸透施設の設置に対する市民の理解を深め、助成制度を利用して、雨水貯留浸透施設の設置を促進。

効果イメージ



静岡市では、大雨に備えて雨水貯留浸透施設の設置費用の一部を助成する制度を設けています。

進捗状況（H27～R1）

巴川流域における雨水浸透施設の助成数(基)

	雨水貯留タンク	雨水浸透柵	不用浄化槽転用施設
H27	19	0	0
H28	34	0	1
H29	19	0	0
H30	10	0	1
R1	15	0	1
合計	97	0	3

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

引き続き、住宅等への雨水貯留浸透施設の設置について費用の助成と普及促進活動を実施する。



雨水貯留タンク設置状況

普及促進活動の実績



各区役所での展示



静鉄バス広告ポスター



チラシの配布



市政出前講座

【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期										中期		長期			
		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降	
○	実施中																

【課題と対応】

近年、申請数が減少傾向であるため、これまで実施してきた普及促進活動に加えて、新たな場所や方法によりPRを実施していく。



各種イベントでのPR



広報しずおか

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

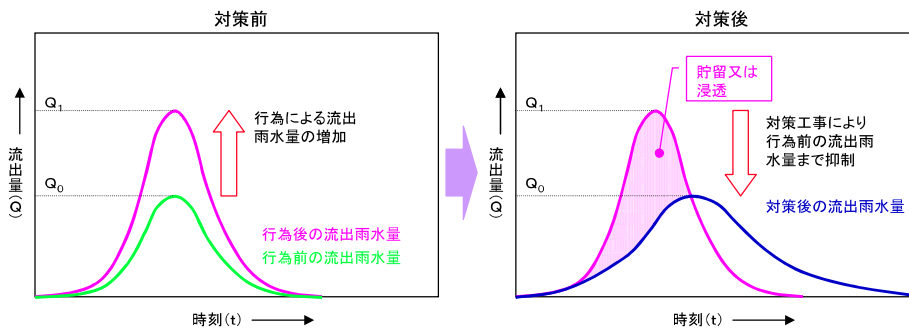
<ソフト対策> -2 開発事業者等への流出抑制指導の継続 流出抑制対策

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）雨水浸透阻害行為に対する適切な流出抑制を指示します。
施設の適正な維持管理及び指導に努めます。

（実施状況）令和元年度までで、37件を許可。

効果イメージ



進捗状況（H27～R1）

年度	許可件数
平成27年度	7
平成28年度	7
平成29年度	9
平成30年度	7
令和元年度	7
計	37

36

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

引き続き、雨水浸透阻害行為に対する適切な流出抑制と、施設の適正な維持管理及び指導に努めます。

【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期					中期					長期				
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降
○	実施中															

進捗状況
 ◎：計画より進んでいる
 ○：計画通り
 △：計画より遅れている

スケジュール
 ●：調整・内部検討
 ●：設計
 ●：工事・点検（不確定な工程は波線）

【課題と対応】

特定都市河川浸水被害対策法における流出係数の定義や一連の事業として扱う事業期間の考え方などの基準はありますが、申請者の土地利用形態が多岐に渡るため、カバーしきれていないという課題があります。対応としては、特定都市河川を所管する実務担当者会議の場で、検討及び解決していきます。

37

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ソフト対策＞-3 巴川流域遊水機能保全活動に対する支援の継続 流出抑制対策

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）指定区域内で、盛土・かさ上げ等を実施せずに、その形状及び遊水機能を保全する者に対し報償金を交付します。

（実施状況）令和元年度までで、1,699人に96,677千円を交付。

効果イメージ



進捗状況（H27～R1）

巴川流域遊水機能保全活動報償金			
年度	面積（m2）	申請者（人）	交付額（円）
平成27年度	514,198	377	22,539,533
平成28年度	502,355	367	21,034,376
平成29年度	441,757	334	18,925,164
平成30年度	424,348	327	17,913,511
令和元年度	376,945	294	16,265,000
計	2,259,603	1,699	96,677,584

38

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

巴川流域総合治水対策事業の完了まで継続する。

【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	スケジュール														
		短期					中期					長期				
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降
○	実施中						実施									

巴川流域遊水機能保全活動報償金交付要綱(概要)

遊水機能保全活動とは...
指定区域内の土地について、盛土・かさ上げ等を実施せずに、その形状及び遊水機能を保全すること。
※従来と同様です。

申告から報償金交付までの流れ

①年度当初

今回の通知です。

河川課より地権者宛に申告書用紙を送付します。
今年度の保全活動について、記入例に沿って申告書を、
静岡市 河川課へ、ご提出ください。

②申告後(随時)

申告した内容(①)に変更が生じた場合は、河川課にご連絡ください。

③年度末(3月以降)

市職員が対象地全件を調査し、交付額を通知します。

④翌年度4～5月

静岡市から報償金が交付されます。

【課題と対応】

年度当初に保全活動への協力をお願いしていますが強制ではないため、高齢化や相続等の事情で農業をやめ、宅地に転用したり、不動産業者に売却するなどにより実績が減少傾向にあります。

39

令和2年度実施状況 (巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画)

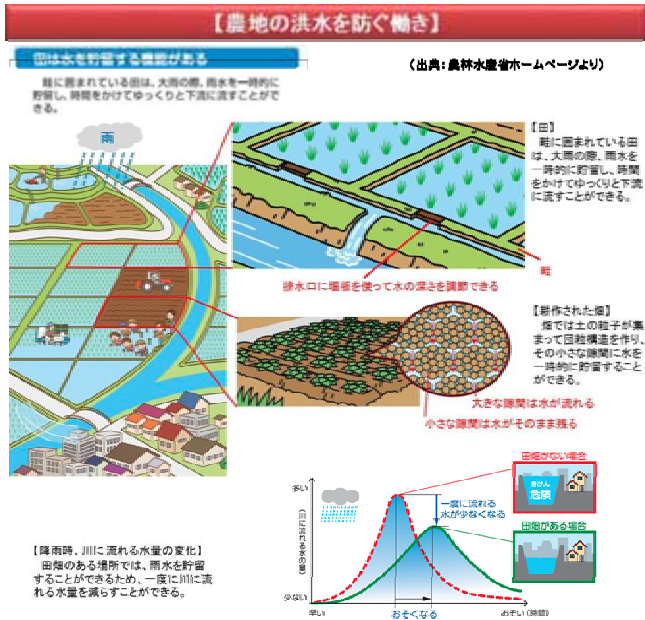
＜ソフト対策＞ - 4 農地が有する多面的機能の発揮による遊水地域の保全

【短期対策 (H27~R1) の成果】

(対策目標) 農地の多面的機能の発揮により遊水地域の保全を図る。

(実施状況) 多面的機能支払交付金の活用により、A=14.5haの農地を保全 (H27より継続)

効果イメージ



実施状況 (H27~)

地域住民などで構成される「あさはた東農地保全会」により、農地や農業用施設の保全だけでなく、近隣の幼稚園児を対象とした蓮華の花摘み、田んぼでの泥んこ遊び、さつま芋の苗挿しから収穫までの体験をする場を提供。



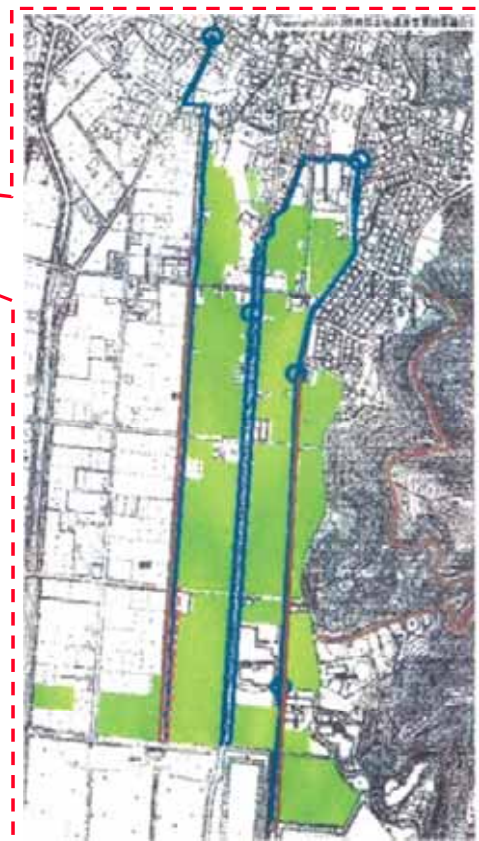
水路の保全活動 (R1実施状況)

近隣幼稚園児のさつま芋収穫体験 (R1実施状況)

【中期対策 (R2~R10) の実施予定】

R2~R6 多面的機能支払交付金事業 実施箇所

平成27年度からA=14.5haの農地が保全されており、令和2年度以降も活動を継続。現在第2期、R2~R6までの事業を実施予定。



【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	スケジュール															
		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	H41以降	
○	継続																

協定の対象となる資源	
	農用地
	開水路
	ハイライン
	農道
	ため池
	遊休農地
	農村環境保全活動の実施箇所
	施設の長寿命化の対象施設

【課題と対応】

【課題】活動組織の構成員の高齢化により、長期的な活動の継続が難しい。活動が休止すると、農地の多面的機能が低下し、貯留機能低下の恐れあり。

【対応】積極的な広報等により、非農家の参加を推奨し、活動の継続を図っていく。

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ソフト対策＞ - 1 行政機関における防災体制の強化

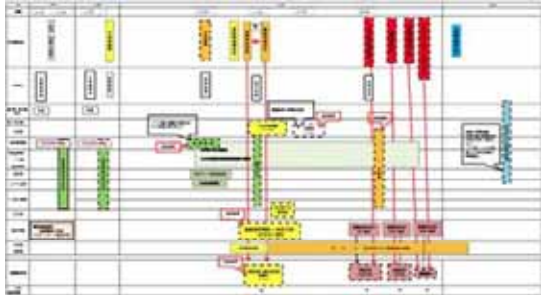
【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）行政機関における防災体制を強化します。

（実施状況）地方気象台の台風説明会等にあわせ、関係局次長等による危機警戒本部を設置。降雨予測に基づきタイムラインを作成し、職員配備体制・避難情報等の発表時期など、庁内の意思統一を図り、全職員に事前に通知。



静岡市危機警戒本部
（平成29年度台風第22号）



市タイムライン
（平成29年度台風第21号）

進捗状況（H27～R1）

年度	タイムライン作成回数	うち避難情報発表回数
H27	2回	1回
H28	1回	1回
H29	4回	2回
H30	4回	4回
R1	5回	2回

H29年度台風第21号は衆議院議員選挙と重なったが、時間に余裕をもって対応することができた。

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

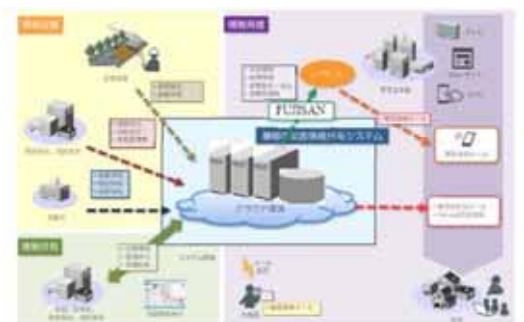
- 引き続き、台風接近時に迅速な対応を取れるよう、
- 令和2年度より、災害情報に関するポータルサイトの運用開始
- 令和3年度より静岡市災害情報共有システムの運用開始

【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	スケジュール														
		短期				中期							長期			
		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降
○	検討中	検討					タイムラインの運用・見直し									



ポータルサイト イメージ図



災害情報共有システム 概要図

【課題と対応】

- 危機警戒本部に出席しない関係者や欠席者等に対して、事前に通知することが困難である。

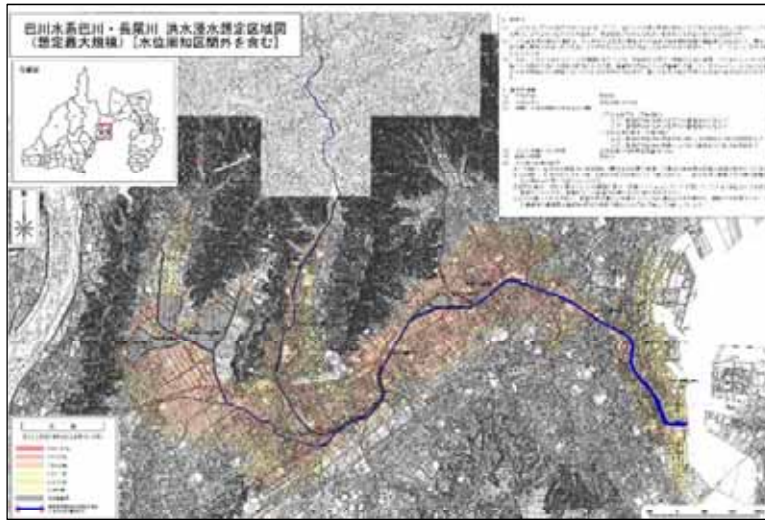
令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ソフト対策>
浸水被害軽減対策 -2 水防法に基づく巴川浸水想定区域図の見直し

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標） 想定最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図を策定・公表する

（実施状況） 令和元年度まで 水位周知河川の巴川・長尾川の洪水浸水想定区域図を公表



巴川・長尾川 洪水浸水想定区域図重ね図（想定最大規模）

進捗状況（H27～R1）

河川名	公表時期
巴川	H29.12.26
長尾川	H30.5.29

【課題と対応】

- ・ 水位周知河川以外の河川においても、氾濫推定図を作成し、避難行動の基礎資料とする。 44

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ソフト対策> 浸水被害軽減対策 -3 洪水・内水ハザードマップの周知・啓発

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）住民の防災意識を向上させ、住民の自助を促し、日頃から大雨に備えていただくことで、浸水被害の軽減を図ります。

（実施状況）令和元年度までで、1194回の地元説明会や出前講座を実施。巴川流域ほかすべての河川における洪水ハザードマップを更新し、流域への全世帯配布、HPへの掲載。

効果イメージ



進捗状況（H27～R1）

防災対策に関する説明会、出前講座の実績

	実施回数(回)	参加者数(人)
H27	233	16,053
H28	226	21,636
H29	215	14,779
H30	238	16,458
R1	282	19,891
合計	1194	88,817

※静岡市全域の実績

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

- R2 内水ハザードマップの更新・公表
- R3 足久保川・藁科川上流の洪水ハザードマップの作成・公表
- 中小河川の指定を検討
- ハザードマップの周知・啓発

近年、毎年のように日本各地で、これまで経験したことがないような豪雨により、深刻な水害や土砂災害が発生している状況を踏まえ、住民の避難行動に結びつけるための防災・減災に関する情報をわかりやすく情報発信していく。

周知・啓発活動



小学生向け防災講座



各種イベント

【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	スケジュール															
		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降	
○	実施中						周知・啓発の実施										

【課題と対応】

前提条件の異なる様々なハザードマップが存在することが、市民周知の際の課題



静岡市HP
(静岡市防災情報マップ)



広報しずおか

(参考) 水防法に基づく水害ハザードマップ(想定最大規模)の作成

<想定される浸水リスク情報を周知>

- 住民が使いやすいハザードマップを目指し、**マップ作成時にワークショップ**を開催
- 住民の防災意識向上のため、西日本豪雨などの教訓や、**マイ・タイムライン**、**マイひなんマップ**の啓発

<地域住民から掲載情報やレイアウトについて意見を聴取>



<巴川洪水・土砂災害ハザードマップ(想定最大規模)>



<マイ・タイムライン>
(個人で作る防災行動計画)

<想定最大規模洪水によるハザードマップ更新>

- H27年の水防法改正に伴い、水害ハザードマップを更新
- ハザードマップ作成対象12河川…国管理3本・県管理9本

○更新状況

H29.3	安倍川・葦科川	(4種類)
H29.8	富士川	(1種類)
H30.11	巴川・長尾川・大沢川	(2種類)
R1.10	丸子川	(1種類)
	庵原川・山切川	(1種類)
	興津川	(2種類)

※R3年度にすべての河川の作成・更新が完了する予定



令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ソフト対策> 浸水被害軽減対策 -4 自主防災組織への支援による共助の強化

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）自主防災組織が購入する土のうなどに対し支援を行い、共助の強化を図ります。

（実施状況）令和元年度までで、174件の補助金交付を実施。

効果イメージ



水防団員の指導による土のう積み訓練

進捗状況（H27～R1）

補助対象	件数
土のう袋	22件
スコップ	30件
リヤカー	120件
砂	1件
土のうステーション	1件
計	174件

【中期対策（R2～R10）の実施見込み】

全体 306件

年間平均 34件の補助金交付を実施する見込み

（※ H27～R1の平均約34件）

（参考）

本市の自主防災組織に対する補助事業



【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	スケジュール																	
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降			
○	実施中			臨時対応															

補助対象事業	補助率	補助限度額
資機材等購入費	1/2	20万円
防災倉庫設置費	1/2	30万円
防災倉庫用地借地費	1/2	5万円
避難路整備事業費	1/2	30万円
可搬ポンプ用資機材購入費	1/2	20万円
可搬ポンプ本体購入費	1回限り	40万円

【課題と対応】

補助金を申請しない自主防災組織もあるため、出前講座等を通じて積極的に活用していただくよう啓発に努める。

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

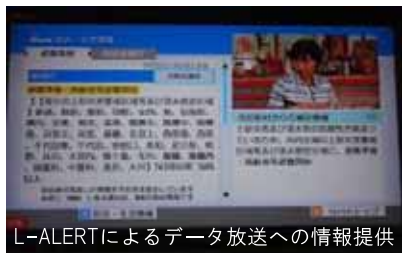
<ソフト対策> 浸水被害軽減対策 -5 自助による減災行動につながる情報提供のあり方の検討

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）自助による減災行動につながる情報提供に努めます。

（実施状況）音声や文字による情報、プッシュ型やプル型の情報など、それぞれの特徴に応じた情報伝達手段を用いることにより、必要とされる情報を伝達。

効果イメージ



進捗状況（H27～R1）

- 「緊急速報メール」「L-ALERT」を積極運用するほか、「静岡市防災メール」「緊急情報防災ラジオ」などの市独自の伝達手段を確保
- 市内の幹線道路を対象に、災害や工事による通行止めなどの規制情報を、インターネットを通じて手軽に確認できる静岡市道路通行規制情報「しずみち info」を運用

52

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ソフト対策> 浸水被害軽減対策 -5 自助による減災行動につながる情報提供のあり方の検討

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）自助による減災行動につながる情報提供に努めます。

（実施状況）水防法等改正に伴い義務化された、要配慮者利用施設における避難確保計画の策定、防災訓練の実施を支援する。



進捗状況（H27～R1）

- ・ 要配慮者利用施設（こども園）の施設管理者に向け、風水害研修会を実施
- ・ 施設管理者向け説明会の実施、専用Webサイトの作成
- ・ 地域防災計画を修正し、水防法等改正に伴い、計画等作成対象となる要配慮者利用施設を位置づけ
- ・ 福祉・教育部局など、防災要配慮者施設の所管部局職員に対し、大学教授による風水害研修会を実施
- ・ 要配慮者利用施設（障害者施設）の避難訓練・意見交換実施
- ・ 介護施設管理者向け風水害研修会を実施

53

令和2年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ソフト対策＞ 浸水被害軽減対策 -5 自助による減災行動につながる情報提供のあり方の検討

【短期対策（H27～R1）の成果】

（対策目標）自助による減災行動につながる情報提供に努めます。



（実施状況）洪水に関する避難情報の伝達・避難訓練を実施する。



L-ALERT全国一斉情報伝達訓練

進捗状況（H27～R1）

- ・各種防災訓練における緊急速報メールの配信
- ・静岡県防災メールによる避難情報伝達訓練（約3.5万人）
- ・自主防災会・学校長等（約100人）に対し、巴川・長尾川の浸水想定区域図を説明

【中期対策（R2～R10）の実施予定】

- ・避難確保計画の提出率約85%（R2.12末）
- ・地域防災計画を修正し、水防法等改正に伴い、計画等作成対象となる要配慮者利用施設を位置づけ（洪水浸水想定区域内715施設）
- ・避難確保計画作成促進、訓練実施呼びかけ
- ・避難確保計画の作成対象となる要配慮者利用施設を再調査
- ・巴川・長尾川洪水ハザードマップの周知

【事業スケジュール】

進捗状況	進捗率	短期					中期					長期		
		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
○	実施中	検討		情報伝達の実施・運用										

◎：計画より進んでいる
 ○：計画通り
 △：計画より遅れている

スケジュール
 ●—● 調整・内部検討
 ●—● 設計
 ●—● 工事・点検（不確定な工程は波線）

【課題と対応】

情報伝達手段の増加に伴い、情報発信作業が煩雑化している
 ⇒令和3年4月から『静岡県災害情報共有システム』運用開始予定

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表

▼ :各施策メニューの当初目標

施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗状況		スケジュール													行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針					
		短期 R1	中期 R10	長期			進捗状況	進捗率	短期					中期					長期									
									H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9			R10	R11以降			
＜ハード対策＞ 洪水処理対策																												
1	巴川本川の流下断面拡大	●	●		県	巴川本川の河床を護岸に影響のない範囲で掘削し、断面の拡大を図り、流下断面を確保する。	○	実施中																			・橋梁への影響 ・仮設工の選定 ・予算の確保	対策効果を確認しつつ、実施可能な掘削案を検討する。
2	既存遊水地の機能強化	●	●		県	既存遊水地（大内）の洪水調節機能の強化	○	検討済																			—	第12回協議会（H31.1.9）において、費用対効果の観点から巴川本川掘削を優先的に進める方針が決定。
3	大谷川放水路の底張工	●	●		県	粗度を軽減し、放水路の流下能力を向上させる。	◎	73%																		—	R2補正予算により事業概成	
4	堤防の高さ確保	●			県	巴川本川の堤防の一連区間の内、局所的に低い箇所を嵩上げし、洪水時の弱点を解消する。	○	実施中																		・人家連担地区において、工事中の迂回路の確保等地元調整が必要	人家連担地区における箇所は、継続的に地元調整を図る。	
5	麻機遊水地第2-1工区の整備推進	●	●		県	巴川本川の水位を下げるため、麻機遊水地第2-1工区（4エリア）の早期完成を目指す。	○	75% (用地取得率 99.8%)																		・予算確保 ・付替え道路工の地盤改良 ・一部、未買収用地の交渉	令和3年度の3エリア（加藤島、安東川、立石）の完全供用に向け工事を進捗させるとともに、令和7年度の4エリア供用を目指す。	
6	既存遊水地の維持管理	●			県	既存遊水地内の樹林化した箇所を伐採、掘削することで、貯水容量の確保・拡大を図る。	○	実施中																		・自然再生協議会における再生・保全管理部会の了承が必要。 ・予算確保	治水面や自然再生面等を考慮して伐採、掘削すべきエリアの優先度を整理し、自然再生協議会との調整を図る。	
7	治水施設の維持管理	●			県	既存の治水施設（分流堰、逆流防止樋門）等の適正な維持管理を行う。	○	実施中																		・永年的な予算確保 ・出水時の漂流物への対応	出水時に備え、引き続き適正な維持管理を実施する。	
8	市管理河川の改修事業の推進	●	●	●	市	巴川流域内の河川の改修を実施し、河川の流下能力の向上を図る。	○	実施中																		—	引き続き、事業の円滑な推進を図る。	

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表

▼ : 各施策メニューの当初目標

施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗状況		スケジュール												行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針			
		短期 R1	中期 R10	長期			進捗状況	進捗率	短期					中期					長期						
									H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			R9	R10	R11以降
<ハード対策> 洪水処理対策																									
9-13	下水道（排水ポンプ等）の整備（巴川右岸第2排水区）	●	●		市	雨水ポンプ場及び雨水幹線を設置し、川岸町・渋川地区の下水道排水能力を上げる。	○	0%																放流協議	既定計画に基づき下水道（排水ポンプ等）の整備を推進する。
9-14	下水道（雨水きよ）の整備（大沢川左岸第4排水区）		●	●	市	雨水きよを設置し、渋川地区の下水道排水能力を上げる。	○	検討予定																事業認可区域外	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。
9-15	下水道（雨水きよ）の整備（江尻南部排水区）		●		市	雨水きよ及びゲートポンプを設置し、江尻町・銀座地区の下水道排水能力を上げる。	○	0%																—	既定計画に基づき下水道（雨水きよ）の整備を推進する。
9-16	下水道（雨水きよ）の整備（入江排水区）	●	●		市	雨水幹線を設置し、追分地区の下水道排水能力を上げる。	○	43%																—	既定計画に基づき下水道（雨水幹線）の整備を推進する。
9-17	下水道（雨水きよ）の整備（大沢川左岸第3排水区）		●	●	市	雨水きよを設置し、追分・大坪地区の下水道排水能力を上げる。	○	検討予定																事業認可区域外	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。
9-18	下水道（雨水きよ等）の整備（大沢排水区）	●	●		市	雨水幹線を設置し、桜ヶ丘・青葉地区の下水道排水能力を上げる。	○	0%																—	既定計画に基づき下水道（雨水幹線）の整備を推進する。
9-19	下水道（雨水きよ）の整備（大沢川左岸第2排水区）		●	●	市	雨水きよを設置し、船原地区の下水道排水能力を上げる。	○	検討予定																事業認可区域外	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。
9-20	下水道（雨水きよ）の整備（谷津沢川排水区）		●	●	市	谷津沢川を改修し、馬走地区の下水道排水能力を上げる。	○	検討予定																事業認可区域外	中期実施期間中に認可を取得し、工事を実施するよう検討する。
9-21	下水道（排水ポンプ）の整備（清水排水区）		●		市	ゲートポンプを設置し、幸町地区の下水道排水能力を上げる。	○	検討予定																	既定計画に基づき下水道（排水ポンプ）の整備を推進するよう検討する。
9-22	下水道施設の耐水化		●	●	市	下水処理場やポンプ場等の下水道施設の浸水対策	○	検討予定																	下水道施設の耐水化計画を策定し、ハード・ソフトによる施設浸水対策を推進する。

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表

▼ : 各施策メニューの当初目標

施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗状況		スケジュール																			行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針
		短期 R1	中期 R10	長期			進捗状況	進捗率	短期					中期					長期										
									H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降						
<ハード対策> 流出抑制対策																													
1	既定計画に基づく流域貯留浸透施設の整備	●	●	●	県・市	流域内に貯留浸透施設を整備し、河川への流出量を抑制する。	○	51%																				・設置することを了承済となっている箇所が無い状態。候補箇所との協議が必要。 ・施設管理者と整備時期についての調整が必要	・候補箇所との協議を行う。 ・引き続き、既定計画に基づき貯留施設の整備を推進する。
2	新たな流域貯留浸透施設の整備	●	●	●	県・市	整備済み施設等における貯留容量追加等の検討を行う。	○	検討予定																				既定計画において未設置の流域貯留浸透施設の整備を優先的に実施する。	・更なる整備が可能な公共施設の洗い出し ・既存施設の機能強化(再整備)を検討
3	道路への雨水浸透柵等の設置	●	●	●	市	道路の集水柵を利用した雨水浸透施設を整備し、河川・下水道への流出量を抑制する。	○	実施中																				浸透効果が見込める箇所の選定	浸透効果が見込める箇所を選定したので、流出量の抑制に向けた整備を進める。
<ハード対策> 土砂流出対策																													
1	巴川本川及び支川の維持浚渫	●	●	●	県	土砂堆積が著しい箇所の維持浚渫により河道断面の確保を行う。	○	実施中																				・浚渫工法の選定 ・堆積状況の把握	定期的な調査等により、適正な河道管理を行う。
2	小河川や排水路等の堆積土砂の排除	●	●	●	市	豪雨により堆積した土砂の排除を行う。	○	実施中																				—	今後も、被災時には迅速に対応し早期の復旧をめざす。
3	砂防事業の推進	●			県	【土砂対策施設の整備】 巴川流域内にある土石流危険渓流について、砂防えん堤等の施設整備を進めている。	○	実施中																				—	採択要件、優先度等により他渓流についても事業を実施
		●	●	●	県	【グリーンベルトにおける協働】 清水大内地区において、土砂災害に強い砂防樹林帯（グリーンベルト）を育て守るため、NPO法人と「砂防サポートプログラム」の同意書を締結し、各種活動を実施している。	○	実施中																				—	今後も取組を継続する。
4	森林整備による土砂流出防備機能の向上	●	●	●	県市 森林所有者等	土砂流出防備機能の向上が図られるよう森林の適正な整備を推進する。	○	継続																				—	引き続き、森林の適正な整備を推進する。

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表

▼ :各施策メニューの当初目標

施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗状況		スケジュール																				行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針
		短期 R1	中期 R10	長期			進捗状況	進捗率	短期					中期										長期						
									H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11以降							
									◎：計画より進んでいる ○：計画通り △：計画より遅れている ●：調整・内部検討 ●：設計 ●：工事・点検(不確定な工程は波線)																					
<ソフト対策> 流出抑制対策																														
1	住宅への雨水浸透樹や雨水貯留タンクの設置の促進	●	●	●	市	申請者へチラシ、広告等による周知を徹底する。	○	実施中																		-	-			
2	開発業者等への流出抑制指導の継続	●	●	●	市	雨水浸透阻害行為に対する適切な流出抑制指示。施設の適正な維持管理及び指導。	○	実施中																			-	引き続き、開発業者等へ流出抑制指導を実施していく		
3	巴川流域遊水機能保全活動に対する支援の継続	●	●	●	市	指定区域内で、盛土・かさ上げ等を実施せずに、その形状及び遊水機能を保全する者に報償金を交	○	実施中																			-	巴川流域総合治水対策事業の完了まで継続		
4	農地の多面的機能の発揮による遊水地域の保全	●	●	●	農業者等で構成される活動組織	農地の多面的機能の発揮による遊水地域の保全	○	継続																			-	-		

巴川流域総合治水対策協議会 行動計画表

▼ : 各施策メニューの当初目標

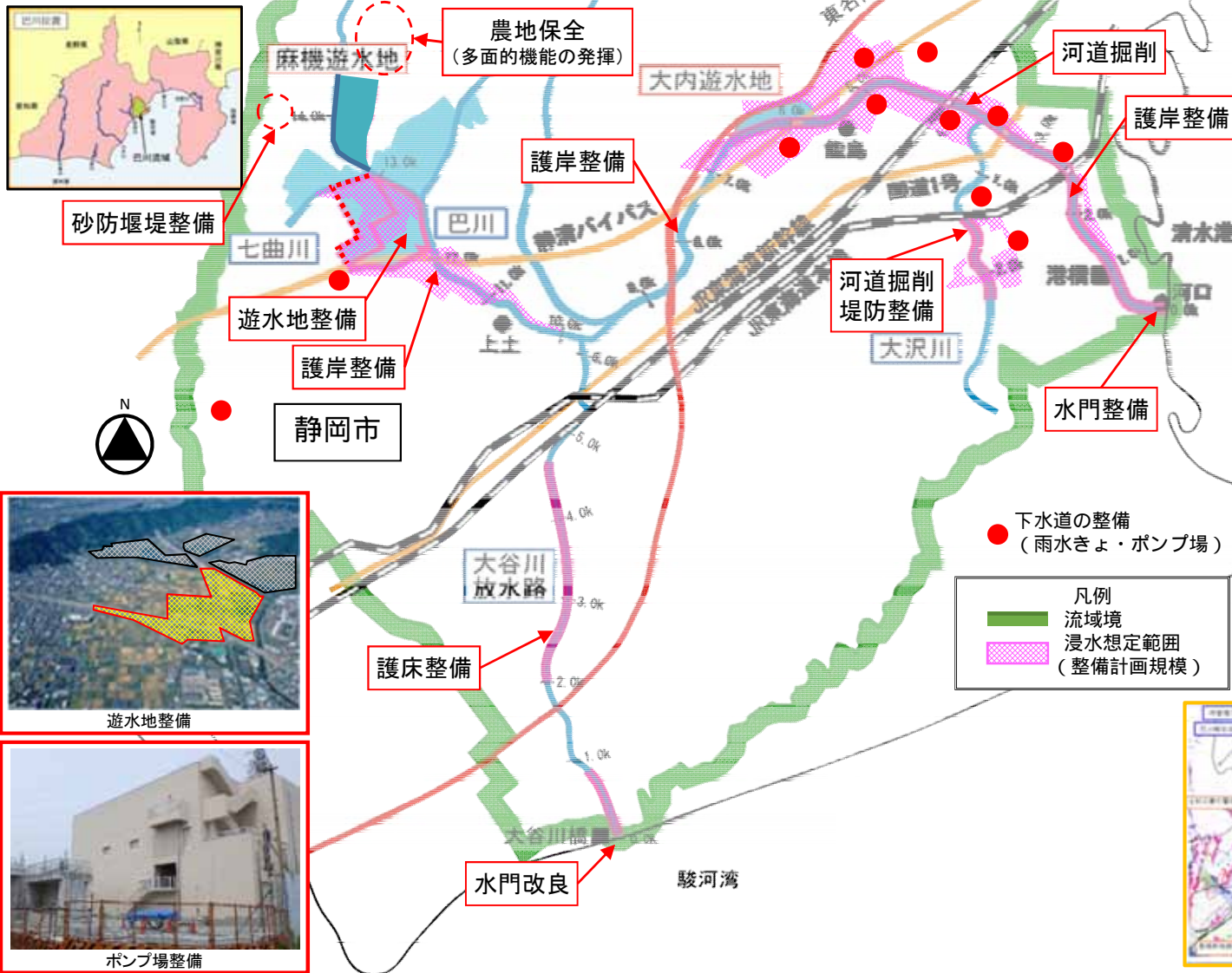
施策番号	対策メニュー	実施期間			機関 県：静岡県 市：静岡市	実施内容	進捗状況		スケジュール													行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針							
		短期 R1	中期 R10	長期			進捗状況	進捗率	短期					中期					長期											
									H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9			R10	R11以降					
<ソフト対策> 浸水被害軽減対策																														
1	行政機関における防災体制の強化	●	●	●	県・市	災害時に備えて、タイムラインを策定・運用する。	○	検討中	●																	-	タイムラインを運用するとともに、必要に応じた見直しを行う。			
		●			県・市	民間気象会社からの降雨予測取得（豪雨パターンマッチング避難支援システム）	○	運用見送り	●	試験施工	●																豪雨の100%予測は不可能であり、今回の事業を試行で実施することによりどこまで予測の精度が上げられるかが課題である。	試験試行の結果を踏まえ、導入を見送った。		
		●	●	●	県・市	・静岡土木⇔静岡市間のネットワーク構築（巴川情報管理システムの共用）	○	検討予定	●	運用調整	●																・県と市が同じ情報（水位データ、映像等）を共有するシステムが必要。 ・現巴川システムの老朽化。	県市共有システムの試験施工を行う。		
		●			県	水位計・監視カメラ等観測機器の空白域へ機器を設置し、県市連携して情報連携・警戒避難体制を強化する。	○	実施済	●	随時	●	設置															・予算確保 ・用地確保 ・電力供給	・空白域を考慮した設置個所の検討を行い、必要な機器を設置する。		
2	水防法に基づく巴川浸水想定区域図の見直し	●			県	公表済の浸水想定区域図について、対象洪水の変更による浸水区域の見直しを行う。	○	実施済	●	検討	●	区域の指定															-	水位周知河川（巴川、長尾川）以外の河川においても、浸水想定区域図を策定し、避難行動の基礎資料とする。		
3	洪水・内水ハザードマップの周知・啓発	●	●	●	市	ハザードマップ配布、出前講座や市のHP、広報紙等を活用し、地元住民への周知を図る。	○	実施中	●																		-	市政出前講座やイベントにおいてハザードマップの配布や活用方法の説明を行い、地元住民への周知を図る。		
4	自主防災組織への支援による共助の強化	●	●	●	市	自主防災組織が購入する土嚢などに対し支援を行い共助の強化を図る。	○	実施中	●																		-	今後共助力を高めるため、自主防災組織に対する支援事業を進める。特に、河川付近の自主防災組織に対しては、土嚢袋などの備えについて啓発を行う。		
5	自助による減災行動につながる情報提供のあり方の検討	●	●	●	市	情報伝達の多重化の検討	○	実施中	●	検討	●	情報伝達の実施	●	運用													-	情報伝達の多重化に向け、さらなる伝達手段を検討する。		
6	コンパクトシティの推進	●	●	●	市	「立地適正化計画」による災害リスクを考慮したまちづくりを検討する。	○	計画推進中	●	計画検討	●	策定	●	改定	●	運用	●	改定	●	運用	●	改定	●	運用	●	改定	●	運用	・居住誘導区域内の災害リスク対応	R3～R4、防災指針検討実施

巴川水系流域治水プロジェクト【位置図】（とりまとめ案）

資料4-3

～ 活発に交流し価値を創り合う自立都市「静岡」を水害から守る流域治水対策～

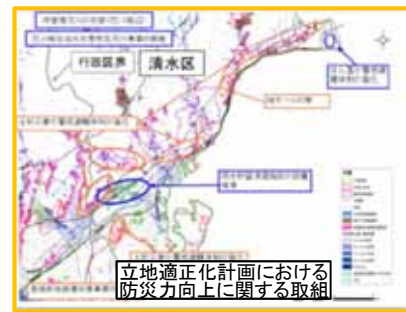
令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、巴川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。県庁所在地の静岡市の低平地を流下する巴川流域は、市街化の進展や地形的特性などにより浸水被害の危険性が高い地区であることから、河道掘削や遊水地整備、下水道（雨水きよ・ポンプ場）の整備等を進めるとともに、砂防堰堤や雨水貯留浸透施設等の整備、雨水浸透阻害行為に対する流出抑制指導や各種ハザードマップの周知・啓発等を行うなど、あらゆる関係者の協働による総合的な浸水対策を推進する。これらの取組により、県管理区間においては、時間当たり 69 mm の降雨規模（年超過確率 1/10 規模の降雨）の洪水が発生しても安全に流すことに加え、平成26年10月洪水と同規模の洪水に対しても浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河道掘削、堤防整備、遊水地整備、水門整備
 - ・土石流対策施設の整備
 - ・下水道の整備（雨水きよ・ポンプ場）
 - ・雨水貯留浸透施設の整備（校庭貯留・公園貯留・透水性舗装 等）
 - ・森林整備
 - ・農地の多面的機能の発揮による遊水地域の保全 等

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・雨水浸透阻害行為に対する流出抑制指導
 - ・コンパクトシティの推進（立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくり） 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・防災体制の強化（タイムライン等の策定）
 - ・洪水浸水想定区域図や氾濫推定図の作成・公表
 - ・洪水・内水ハザードマップの周知・啓発
 - ・自主防災組織への支援による共助の強化
 - ・自助による減災行動につながる情報提供（防災・治水出前講座） 等



巴川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】（とりまとめ案）

～ 活発に交流し価値を創り合う自立都市「静岡」を水害から守る流域治水対策～

- 巴川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 上流の麻機地区における床上浸水被害の解消のため遊水地の整備等を行い3エリアの暫定供用を行った。
加えて、被害軽減のために雨水きよ・排水ポンプ整備、雨水貯留浸透施設整備を行った。
 - 【中期】 麻機遊水地第2-1工区の完成を目指すとともに、清水地区の床上浸水被害軽減のために雨水きよ・排水ポンプ、雨水貯留浸透施設整備の推進とともに巴川本川掘削に着手する。
災害リスクを考慮したまちづくりのため、立地適正化計画に記載する「防災指針」を検討する。
 - 【中長期】 下流の清水地区における床上浸水被害の軽減のため、巴川本川の水位低下を目的とした河道掘削等を行う。
あわせて、被害軽減のための取組をあらゆる関係者と一体となって推進する。

■事業規模

・河川対策

全体事業費 約590億円 ※1
対策内容 河道掘削、堤防整備、遊水地整備、水門整備 等

・下水対策

全体事業費 約350億円 ※2
対策内容 雨水きよ・ポンプ場の整備 等

・砂防対策

全体事業費 約2.5億円 ※3
対策内容 砂防堰堤整備

※1：巴川水系河川整備計画の残事業費を記載
※2：静岡市の下水道事業計画の残事業費を記載
※3：砂防事業の残事業費を記載

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期 (H27～R1)	中期 (R2～R10)	中長期 (R11以降)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	巴川本川の水位を下げる 麻機遊水地第2-1工区の整備	静岡県	遊水地整備	3エリアの暫定供用	4エリアの完成
	下流の清水地区を守る 巴川本川の河道掘削	静岡県		調査・測量・設計	河道掘削
	浸水エリアの排水能力を上げる 下水道の整備（雨水きよ・ポンプ場）	静岡市	雨水きよ・排水ポンプ整備		
	河川への流出を抑制する 雨水貯留浸透施設の整備	静岡県・静岡市	雨水貯留浸透施設整備		
	土石流対策施設の整備（砂防堰堤整備）	静岡県	砂防堰堤整備		
	農地の多面的機能の発揮による遊水地域の保全	静岡市	農地の保全等		
被害対象を減少させるための対策	雨水浸透阻害行為に対する 流出抑制指導	静岡市			
	コンパクトシティの推進 （立地適正化計画による浸水リスクを考慮したまちづくり）	静岡市		立地適正化計画に基づく 防災指針の作成	
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	防災体制の強化 （タイムライン等の策定 等）	静岡県・静岡市	タイムラインの運用・見直し		
	洪水・内水ハザードマップの 周知・啓発	静岡市			

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。